

(志布志市)

日本有数の茶産地で、安心・安全なお茶をお客様のニーズに合わせてお届けし、未来に向けたお茶づくりに取り組んでいます

鹿児島県大隅半島の自然豊かな志布志市で、栽培から製造・販売を一貫して行っています。土地やお茶のことを知り尽くした生産者とともに育てた安心・安全な茶葉を、経験豊富な茶師が五感で確認しながら繊細な製造を行っています。仕上がった茶は、最新鋭の機器を用いて、成分や安全性の分析も同時に行うことで、お茶の味や品質を数値化し管理しています。日本のお茶が新しいステージへ進もうとする中、生産者、茶師、それぞれのスタッフが一丸となって、未来に向けたお茶づくりに取り組んでいます。



代表取締役 堀口 将吾

会社概要

2024年2月7日現在

■所在地 〒899-7512
鹿児島県志布志市有明町
野神3451-8

■代表者 代表取締役
堀口 将吾

■設立 1987年(昭和62年)3月

■TEL 099-475-2182

■資本金 1,000万円

■FAX 099-475-0890

■従業員数 36人

■E-Mail info@horiguchien.co.jp

■事業概要 茶栽培・茶(煎茶、碾茶)製造販売・茶製品委託加工

■URL http://horiguchien1986.com

■主要製品 茶・碾茶(抹茶原料)

お茶づくりの原点は畑にあります

茶栽培に適した温暖な気候と豊富な水資源、機械管理に適した平坦な土地など、強みを最大限に活かして、早生から晩生まで様々な品種のお茶を栽培しています。有機栽培への取り組みや栽培方法の研究、新品種の導入も積極的に進めています。収穫シーズンはもちろん、より良いお茶づくりの為に、防寒・防霜対策や整枝、「かぶせ」による品質の向上など、ひとつひとつの茶畑ごとの個性を自らの目で確かめ、安心・安全なお茶づくりに取り組んでいます。また長年にわたり大手飲料メーカーとの契約栽培を行っており、安定した経営を行っています。



乗用型摘採機による茶園管理

新しいスタイルのお茶づくりの取り組み

お茶は嗜好品であるとともに日本文化の一つでもあります。現在、日本が誇るこのお茶は健康飲料として、また食材、調味料、機能性食品としても世界から注目を集めています。その中で、「今求められているお茶」をお届けする為、生産者さんとのパートナーシップにより、茶畑での栽培の段階から商品開発を行ってきました。さらに、お茶の持つ多様な可能性を広げるため、2010年には抹茶の原料となる碾茶製造を開始。自社ブランド「さつまっちゃ」をはじめ、新しいスタイルのお茶づくりに取り組んでいます。これからは日本有数の茶産地・志布志市から、新時代のお茶文化を発信していきます。



国内有数の本格碾茶炉設備

おいしさに品質と安全性を添えて

味と品質(安全性)を切り離して考えることはできません。FSSC22000、ASIAGAP等の認証を取得し、原料から製造、出荷に至るまで、世界市場に通用する品質・衛生管理を実現。また、最新のガスクロマトグラフ質量分析計をはじめ、最新鋭の検査機器を導入し、専門の品質管理スタッフによる、茶成分分析、色素判定、微生物検査、残留農薬検査等を行っています。これらの検査情報を、生産者や製造現場と共有することで自社による品質管理を徹底、お茶のグローバルスタンダードを追及しています。



ガスクロでの残留農薬検査